

# 常任委員会報告

## 予算委員会

当委員会では、平成29年度一般会計補正予算第3号及び第4号の審査を行い可決しました。

なかでも、国の地方創生推進事業を利用する、ふるさと回帰事業の企業の人材確保事業と映画制作支援活用事業に対しては活発な意見が出され、その効果と運用に対し慎重な検討を求め、事業完成後においても十分な活用をはかるよう求めました。

また、コンビニエンスストアにおける市税収納業務については、費用対効果と市民の利便性、市外への告知について議論があり、初期費用及び維持管理費に留意して進めるよう意見がありました。

さらに、九頭竜川の鮎ブランド化事業や、災害復旧事業の対応については、今後の展開を含めて検討を行うよう意見がありました。

### ふるさと回帰事業

勝山市出身で勝山市外に居住する学生のUターンを支援するため市内企業と保護者に対し調査を行って課題の洗い出しを行い、来年度以降の本格的な企業の人材確保を推進する事業です。調査の時期や方法に対し効果的かつ迅速に行うよう意見が出されました。

### 設備の老朽化対策

市民交流センター、市営温水プール、消防庁舎、地区公民館等の公共施設において、空調設備の老朽化に伴う更新が増え、状況と対策について説明を受けました。

### 電算処理委託料

新たに、コンビニエンスストアでの市税等の納付が出来るようにするための費用、マイナンバー制度運用に伴う費用、子ども医療費無料化のための費用等の電算処理委託料について説明を受け、イニシャル・ランニングコストの低減に十分に努力するよう意見が出されました。

### 8月豪雨災害の対応について

8月25日の豪雨災害について、当時の対応について説明を受け、災害箇所復旧工事及び対策の説明を受けました。災害復旧の補助対象とならない箇所について今後検討をするように意見が出されました。

### 市内タクシーの夜間営業支援

9月1日から、午後7時以降タクシーの営業が無くなりました。このため、夜間の交通手段の確保に向けて予算を計上しました。10月中の再開を目指しています。

委員からは、運行再開に向けて様々な意見が出され、また長期的な対策についても議論がありました。  
(※10月12日に再開されました。)

そのほか、高齢者の買い物支援事業ふるさと回帰事業関連の映画制作補助金等や議場の表決システム導入に伴う費用等が9月補正予算に計上されています。

## 総務文教厚生委員会

### ■今定例会の審査結果

審査の結果、議案5件については全て可決しました。陳情2件については1件を採択、1件を不採択とし、「地方財政の充実・強化を求める意見書」を提出しました。

### 就学援助費のうち入学準備金の入学前支給について

入学準備金については、これまで入学前には支給できませんでしたが、国の補助金要綱が改正され、学校入学前でも支給できるようになりました。そこで、平成30年4月に入学予定の児童生徒から入学前に支給する予定です。支給は年度内に行い、支給額は、1人につき小学校入学は4万6000円、中学校入学は4万7,400円を予定しています。支給条件等の詳細につきましては学校教育課までお問い合わせください。

### 平成30年度小学校英語教育指導体制について

勝山市では、国の「外国語教育強化拠点地域」として、平成26年度から全国に先駆け、小学校3年生からの小・中・高一貫の英語教育に取り組んでおり、現在、4年間の指定期間最終年度となっています。平成30年度からは、全国の小学校で3年生からの外国語活動が実施されることとなり、勝山市においては、4年間の実績・成果を基に、さらに英語教育の充実に努めます。

そのため、平成30年度における小学校の指導体制を英語支援員2名、外国語指導助手2名としたことの説明がありました。委員からの「指導員の確保が難しくなる事が予想されるが、その点は大丈夫なのか」「英語が教科化されることで、どの教科の授業時間が減るのか」との質問に対して、「全国的に導入されることから、指導員の確保が難しくなると考えられるが、精一杯努力する」「現在は、総合的な学習の時間の一部を英語の授業に充てている。来年度からは、学校とも相談し、週の授業時間数を一時間増やしたい」と答弁がありました。

